

各事業の概要説明

I-① いわきっ子生活習慣病予防健診【継続】

【事業概要】

若年からの生活習慣病予防対策として、学校保健安全法による中学2年生の貧血検査と合わせた追加の血液検査等を実施し、生徒の健康状態の分析を行うとともに、健診後の保健指導等により、生徒自身の生活習慣病予防の取り組みを促す。

また、保護者に対する「健康づくり」の意識醸成を図ることで、市民の生活習慣病予防及び健康寿命の延伸を目指す。

【R2年度実績】

- ・ モデル校5校（平第一、小名浜第二、勿来第一、四倉、三和中学校）うち集団健康教育2校
- ・ 健診受診者 478名（対象者の98.1%）
- ・ 血液検査結果 243名（対象者の50.8%）が「予防指標範囲外」
- ・ 個別健康相談 対象者243名中84名（34.6%）に実施

【R3年度事業実施内容】

- ・ R2年度とは異なるR3年度新モデル校を選定し、2年生の希望者（約500人）に実施。
- ・ R2モデル校のうち2年次の検査で予防指標範囲外の項目のうち希望者に3年生で再検査を実施。
- ・ 養護教諭等を対象とした研修会の開催（健診結果及び保健指導の実施状況等を報告）
- ・ 学校や教育委員会、医師会及び各地区保健福祉センターと健診受診後の支援体制について協議。

I-② 各種健康診査の受診率向上対策【継続】

【事業概要】

がん検診や各種健診の受診率を向上し、生活習慣病の早期発見、早期治療、重症化予防を図り、健康寿命の延伸を目指す。

【R2年度事業実施内容】

- (1) 大腸がん検診と健康診査（特定健診）のセット受診の勧め
 - ・ 健康診査（特定健診）受診者に、大腸がん検診も併せて受けることを医療機関等で積極的に勧め、大腸がん検診の受診者増加を目指す。
- (2) 大腸がん検査容器の配布
 - ・ 各地区保健福祉センターでの配付
 - ・ 集団休日健診予約者へ検査容器事前送付
- (3) 市ホームページからの集団健診予約、及び受診券発行申し込みの実施。
- (4) 大学と連携した、子宮頸がん検診集団検診の実施
 - ・ 医療創生大学及び東日本国際大学を会場とした集団子宮頸がん検診を実施し、大学との連携による若い世代の受診勧奨を行う。
- (5) 20～30歳代女性への子宮頸がん検診受診券の送付
 - ・ 19～39歳健康診査案内に、受診券を同封する
- (6) 電話による受診勧奨の強化
 - ・ 健診コールアドバイザーによる特定健診受診勧奨と併せ、がん検診受診勧奨も行う。
- (7) 3歳児健康診査における子宮頸がん検診受診勧奨

【R3年度事業実施内容】

- (1) 社会保険加入者も含めた受診券送付者の拡大
 - ・ 40～70歳の5歳刻み年齢の方に該当するすべての受診券を送付し、健診機会を積極的に案内
- (2) おはよう健診の実施

各事業の概要説明

II-① いわき健康チャレンジ事業【継続】

【事業概要】

健康増進法及び健康いわき21（第二次）に基づき、市民の生活習慣病予防及び健康増進に向けた目標や施策の推進を図るため、県が実施する「ふくしま健民パスポート事業」と連動し、日々の健康づくりや、健診（検診）受診、禁煙などの健康行動にチャレンジし基準を達成した市民に対して「ふくしま健民カード」を交付し、特典を付与することにより、健康づくりの継続を促し、生活習慣病の発症や重症化を予防し、健康長寿の実現を図る。

【R2年度実績】

○ 健民カード取得者数：433人

【R3年度事業実施内容】

- ・ 令和3年度保健のしおりに台紙兼チラシを掲載し市内全戸配布するほか、コロナ禍においても積極的に取り組むことができる健康づくりとして本事業の普及を図る。また、特定保健指導や健康づくりサポートセンターなど保健事業と連動した啓発を行うほか、つどいの場や高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業における健康教室等でさらなる啓発を図る。
- ・ 禁煙等の行動目標が改善した方、血圧等の健康指標が改善した方、ロコミ紹介をした方等、成果が顕著に得られた参加者に対し抽選でスマートウォッチを付与するなど、県特典（主に食料品）と差別化を図った内容として、新規利用者の拡大及び利用の継続を目指す。

II-② からだがみえるおでかけ測定会【新規】

【事業概要】

各種団体等との連携により、青年期・壮年期を対象に5人以上のグループでの参加を募り、血管年齢や内臓脂肪測定等、希望するメニューの出張型体測定会を実施。市民一人ひとりが自分の健康に関心を持ち、主体的な健康づくり活動の推進を図る。

【R3年度事業実施内容】

測定メニュー

- ・ 血管年齢測定
- ・ 内臓脂肪測定
- ・ 簡易血糖測定
- ・ 血圧測定
- ・ 体重測定
- ・ デジタル塩分計による塩分量測定
- ・ メタボリ先生による食事診断
- ・ 保健師・栄養士等による健康相談
- ・ 健康情報提供

II-③ 国保特定保健指導【継続】

【事業概要】

特定健診の結果、メタボリックシンドロームのリスクが高いと判定された方を対象に、医師や保健師、管理栄養士による助言等を実施し、生活習慣の改善による疾病予防を目指す。

【R1年度実績】

- ・ 国保特定保健指導対象者 1,545人中、実施者 319人（実施率：20.6%）

【R3年度事業実施内容】

- ・ オンラインによる保健指導の導入

各事業の概要説明

II-④ 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業【新規】

【事業概要】

高齢者の心身の特性に応じた効果的な支援を効率的に行うため、これまで取り組んできた介護予防と保健事業を一体的に取り組み、壮年期の健康づくり事業から継続した高齢者の健康増進及び健康寿命の延伸を目指す。

【R3年度事業実施内容】

- 1 国保データベース（KDB）システムを活用し、医療レセプト・健診・介護レセプトデータの分析を行い、高齢者の健康課題を明らかにする。
- 2 高齢者に対する個別的な支援やつどいの場創出支援事業と連携した高齢者の健康づくり地域を担当する医療専門職を配置し、(1)及び(2)の保健事業を実施する
 - (1) 個別的な支援（ハイリスクアプローチ）
 - ・ 健康診査結果等による生活習慣病の未治療・重症化予防に関わる個別相談や訪問指導の実施。
 - (2) つどいの場等への積極的な関与（ポピュレーションアプローチ）
 - ・ 健康課題を反映させた疾病の重症化予防、フレイル予防等の情報提供や健康教育の実施
 - ※ ポピュレーションアプローチとは、高いリスクを抱えていない集団に働きかけ、集団全体がリスクを軽減し疾病を予防すること

II-⑤ 官民共創健康づくり事業【継続】

【事業概要】

市民の生活習慣病指標の改善を目的に、県の補助を受け、民間企業と共創し生活習慣病に対する先駆的な事業を実施する。

壮年期の働き盛り世代はメタボリックシンドローム・高血圧等の割合が高い状況にある。このことから、企業と協働して保健事業を実施し、企業で働く従業員がよりよい生活習慣を獲得すること、また、企業が健康意識を高めて従業員の健康づくりをサポートすることで健康増進を目指す。

【R2年度実績】

- (1) 実施企業 いわき信用組合（46人が参加）
- (2) 事業内容
 - ・ オンライン健康セミナー
 - ・ 専用アプリでチームごとの野菜摂取量等のデータを見える化することで、継続を支援
 - ・ いわき健康チャレンジ事業台紙を活用した健康づくりの取り組み
 - ・ 参加前後の野菜摂取レベル、推定野菜摂取量、健康意識の変化の確認

【R3年度事業実施内容】

- ・ 働き盛り世代のよりよい生活習慣の獲得及び企業の健康意識の向上を目指し、福島県市町村先駆的健康づくり実施支援事業を活用し、企業と協働した事業を継続実施する。

各事業の概要説明

II-⑥ 健康づくりサポートセンター事業【継続】

【事業概要】

市健康・福祉プラザ（ゆったり館）の未利用スペースを活用し、運動器具等による運動プログラムを行うとともに、気軽に参加できる各種健康教室の開催や、運動・栄養・健康の相談・助言を行う。

(1) 気軽に運動できる場の提供

ランニングマシン等運動器具を設置し、希望に応じた運動プログラムを行うなど、実技指導や家庭での運動の取組みへの助言。

(2) 各種健康教室の開催（運動教室、栄養教室）

参加者が健康状態や体力、希望に合わせて選択できるよう複数の内容、時間帯で継続的に開催。

(3) 健康運動指導士、管理栄養士、保健師等による相談・助言

体組成計による身体計測の実施（一人あたり3回）、希望に応じ、運動プログラム（健康状態や体力レベルに応じた日々の運動プログラム）の作成や健康運動指導士、管理栄養士、保健師等による相談・助言。

(4) 健康づくりに関する情報提供等

地域の健康づくりに関する情報提供や健康づくりに関するパンフレット等の設置。

【R2年度実績】

- ・ 利用者 50 人（申込者 110 人：定員上限を抽選により決定）

【R3年度事業実施内容】

- ・ ウェアラブル端末を活用したプログラムの導入。
- ・ 「お出かけ健サポ」の導入。
市民に身近な公民館や集会所等で各種健康教室や健康・運動・栄養に係る相談・助言を実施する。

各事業の概要説明

Ⅲ-① 共に創る健康づくり推進事業 [継続]

【事業概要】

市民の健康づくりは、「いわき市共に創る健康づくり推進条例」により、市民、地域団体、事業者、保健医療等関係者及びいわき市が共に創ることを基本としており、全ての市民の健康長寿社会の実現を目指すことを目的に、健康づくりの推進に関し、必要な事項を審議する「健康いわき推進会議」に関する運営、高血圧対策を主眼とした減塩の地場産品のプロデュース・プロモーション事業に加え、「市民の健康長寿の実現に関する都市連携協力協定」を締結した長野県佐久市と人的交流により、先進的な健康施策の調査・研究を行う。

【R2年度実績】

- ・ いわき市健康づくり見える化事業
公募型プロポーザル方式により、株式会社富士通総研に分析業務を委託（詳細は〔資料1〕参照）

【R3年度事業実施内容】

部会構成員との共創により、高血圧の予防・改善に向けて、市民の行動変容を促すような食や運動等に関する施策を展開。本市地場産品を用いた減塩商品等の作成や、本市独自の専用ロゴ等の作成など主に3つの事業を実施する。

- (1) 高血圧予防・改善イベント企画等企業募集事業
- (2) 減塩商品プロデュース事業
- (3) 高血圧予防・改善プロモーション事業

Ⅲ-② Withコロナ健康づくりモデル事業 [新規]

【事業概要】

コロナ禍における壮年期の生活習慣病予防の取組みを効果的に推進するため、ICT等を活用し、一人ひとりの健康状態に応じた健康づくりを個別支援することはもとより、健康づくりに貢献する地域を限定しない新たなコミュニティ作り及びSNSなどを通じた波及効果を活用し、ソーシャルキャピタルの醸成により地域全体で健康づくりに取り組む機運を高め、市民への定着を図ることを目的に、市内全域から参加者を公募し、健康づくりの取組みを支援する。

【R3年度事業実施内容】

- ・ 若い世代からの生活習慣病対策が喫緊の課題でありスマホなどの利用率が高くICTを活用した健康づくりの取組みが有効と思われることから、壮年期を対象としたリモート運動教室やSNS上の交流の場やイベント等の実施によりコミュニティ作りにつなげ、健康づくりの取組みを支援する。
- ・ 市内全域を対象とし参加者を公募するが、グループでの参加や中山間地域の住民への声掛けを積極的に行う。